

情報公開文書

課題名：非 HIV 患者のニューモシスチス肺炎 (non-HIV PCP)の死亡リスクについての後方視的研究

研究期間:臨床研究審査委員会承認日～2023 年 10 月 31 日

研究開始予定日:臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2010 年 9 月～2023 年 5 月に当院でニューモシスチス肺炎の診断で治療を受けた方のうち、HIV 感染症患者さんではない方。

2. 研究目的・方法

ニューモシスチス肺炎(PCP:Pneumocystis pneumonia)とは、Pneumocystis jirovecii と呼ばれる真菌に感染することによって起こる肺炎です。強い息苦しさや乾いたような咳、発熱などの症状がみられます。

この真菌は健康なときに感染症を起こすことはほとんどなく、免疫が低下した状態の際に症状が出るのが特徴です。ニューモシスチス肺炎にかかりやすい人の特徴の 1 つとして、HIV 感染症の患者であることが挙げられます。しかし、近年は有効な予防方法が確立しつつあり、HIV 感染症患者のニューモシスチス肺炎は減少傾向にあります。一方で、近年では臓器移植後の患者など免疫抑制剤の投与によって免疫が抑制されている患者にも、ニューモシスチス肺炎を発症することが多く、加えてステロイド薬の投与や生物学的製剤、抗がん剤、がんそのものによる免疫低下なども発症のリスクになっている場合もあります。

今回は、当院でニューモシスチス肺炎の診断として治療を受けた非 HIV 患者さんのカルテを参照し、既往歴や血液データ、画像データ、治療後の転帰などのデータを抽出して評価することで、非 HIV 患者さんのニューモシスチス肺炎の死亡リスクを明らかにし、今後の診療の質向上と死亡率の低下を実現させていきたいと考えております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類 ※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部
現病歴、既往歴、治療歴、内服薬、副作用の発生状況等、気管支鏡検査結果、画像検査結果等

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます。

6. 個人情報の取扱い

試料や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。試料や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

(様式4)

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 呼吸器内科 平岡 佑規(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)